

ACK Kids' Programs

11.1^金2[±]3^日

Powered by
RKW 音羽病院
RAKUWAKAI OTOWA HOSPITAL

アートフェアで
みる
つくる

ACKキッズ プログラム 参加者募集

国際的なアートフェアである Art Collaboration Kyoto (ACK)の会場でも子どもに向けたワークショップを開催します。会場内に設置された作品をガイドツアーで巡る「みる」と、実際に手を動かしてアーティストとともに作品を作る「つくる」がセットになった内容です。プログラムの参加は無料です。皆様のご参加をお待ちしております。



昨年の様子
Courtesy of ACK, 2023,
photo by Mori Akihito



ACKキッズプログラム開催日: 2024年11月1日金・2日±・3日日

時間 ◎1日=13:00-15:30 (受付12:30-)、16:00-18:30 (受付15:30-)

◎2日=13:30-16:00 (受付13:00-)、15:00-17:30 (受付14:30-)

◎3日=12:00-14:30 (受付11:30-)、13:30-16:00 (受付13:00-)

参加費: 無料 (ただし、同伴者や保護者のACK入場料は別途必要) | 定員: 各回15名

場所: 国立京都国際会館 ニューホール「キッズプログラムスペース」

スペシャルパートナー: 洛和会音羽病院 | 問合せ: kids@a-c-k.jp

◎参加申し込み、プログラムの詳細は



「無料託児あり・参加無料」

ACKキッズプログラムとは

ACKが主催するプログラム「ACK Curates」の一貫で実施をし、今年掲げるテーマ「レジリエンス（回復力）」をもとにワークショップを開催します。アート好きの子どもが増えるような環境作り、未来の美術教育の必要性を再認識することをねらいとし、国際的なアートフェアの会場内でのプログラムを通じて、新しいセンス、新しい視点をすべての参加者に感じてもらえることを目指しています。また、小さなお子様をもつすべての方がアートに関わることができるように、無料託児サービス（10/23[水]までに要事前予約）をご用意しています。

事前申込

プログラムの申込みはこちらから



11.1^金 2^土 3^日

京都芸術大学
アート・コミュニケーション
研究センター (ACC)

ガイドツアー | 3日間共通

人が人との間で生きていくために最も重要な要素であるコミュニケーションのあり方・育て方について美術教育の現場から問い直すことを趣旨とし、2009年4月に設立。ニューヨーク近代美術館で開発された鑑賞教育プログラム「VTC (Visual Thinking Curriculum)」を源流に、京都芸術大学が2004年度から展開する対話型鑑賞教育プログラム「ACOP/エイコップ (Art Communication Project)」を応用し、全国の美術館や他大学との共同研究、芸術祭・アートプロジェクトと連携した取り組みや、医療・福祉など対人援助者やビジネスパーソンに向けた研修も展開しており、年々その活動の領域を広げている。

ART COMMUNICATION RESEARCH CENTER
京都芸術大学
アート・コミュニケーション研究センター



みる

11.1^金

事前申込

大和美緒
Yamato Mio



Photo: Mugiya Hyogo

1990年滋賀県生まれ。2015年京都造形芸術大学（現 京都芸術大学）大学院修了。京都を拠点に活動。生命の営みと自然との関係を描く〈under my skin〉や赤い点を育てるように描く〈RED DOT〉、極細の線を反復して描く〈BLACK LINE〉、呼吸の力で描く〈BREATH〉をシリーズとして展開している。主な展覧会に2018年「project N 74 大和美緒 YAMATO Mio」（東京オペラシティアートギャラリー）など多数。主な受賞に「Fundación Casa Wabi Woman Artist Residency Award」（2020年 CASA WABI財団）など。

対象：どなたでも（7歳以下のお子様は親子で参加可能）

11.2^土

事前申込
10/14（月祝）

安永正臣
Yasunaga Masaomi



Photo: Nonaka Hill

1982年大阪府生まれ。2006年大阪産業大学大学院修了。在学中は走泥社の会員である星野暁のもとで学ぶ。卒業後、三重県伊賀で窯を構え制作している。独立当初、造形作品を制作するかたわら器作家としても活動。そのときの薪窯での焼成が現在の焼成理論に繋がる。主な展覧会に2023年「エマイクと身体」（銀座メゾンエルメスフォーラム）。

対象：
8-13歳の子ども（目安として小学校3年生-6年生）
※安永正臣さんのワークショップは、10/14に事前ワークショップの開催予定です。2日の日程どちらもご参加いただける方が対象となります。

11.3^日

事前申込

京都市立芸術大学
小山田研究室+
副産物産店



自然との関わり、関係性などを手がかりにさまざまな共有空間・場の研究をしてきた京都市立芸術大学彫刻専攻の小山田徹教授の下で学んできた学生と、山田毅（只本屋）と矢津吉隆（kumagusuku）による副産物産店がタッグを組んで、今回だけのプログラムを実施します。

対象：どなたでも（7歳以下のお子様は親子で参加可能）

つくる

キッズスタジオ

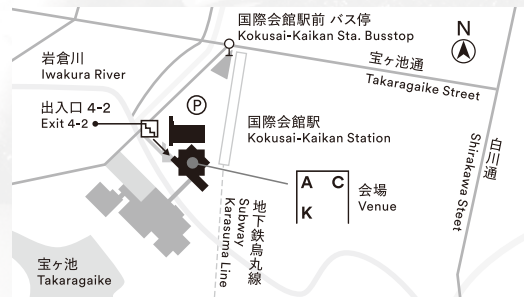
11/2、3の会期中、夕方の時間帯にキッズスタジオをオープンします。小山田徹「にぎにぎプロジェクト」を実施します。（申込み不要／無料）キッズスタジオは、京都市立芸術大学 小山田徹研究室のゼミ生や卒業生、アーティストなどからなる互助チーム「ステージ4」が運営します。メンバー：彦坂敏昭、副産物産店、黒川岳、京都市立芸術大学 小山田徹研究室所属学生、卒業生ほか（協力：AISHO、Gallery PARC、kumagusuku）

A C K

Art Collaboration Kyoto (ACK) は、「現代アートとコラボレーション」をコンセプトに京都で開催するアートフェアです。アートフェアとは、アート作品を展示し販売するイベントのことで、ACKは現代アートに特化したアートフェアとしては日本最大級で、日本と海外のギャラリー、行政と民間、美術とその他の領域などがコラボレーションする点に特徴があります。メイン会場の国立京都国際会館で、「ギャラリーコラボレーション」と「キョウトミーティング」の2つのセッションを設け、作品の展示や販売を行います。

開催日 | 2024年11月1日 [金] - 3日 [日] 会場 | 国立京都国際会館
主催 | Art Collaboration Kyoto 実行委員会事務局（業務委託 一般財団法人エーシーケー）
主催 | Art Collaboration Kyoto 実行委員会（京都府、一般社団法人日本現代美術商協会、一般社団法人日本現代美術振興協会、一般社団法人カルチャー・ヴィジョン・ジャパン、京都商工会議所、公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー）

チケット料金 / 一般3,000円、大高生1,500円（早割）一般2,500円、大高生1,000円 ※10/27まで
◎託児サービスについて、予約方法など詳しくは、
<https://a-c-k.jp/for-kids/#nursery>



◎京都市営地下鉄丸線「国際会館駅」下車、出入口4-2より徒歩約5分
◎京都市バス、京都バス「国際会館駅前」下車徒歩約5分
◎京都駅よりタクシーで約3-40分
ACK実行委員会事務局
604-0862 京都市中京区丸鳥通 夷川上ル少将井町229-2
第7長谷ビル 2階
075 708 8591 | info@a-c-k.jp | <https://a-c-k.jp/>

Mirru Tsukuru